

『第11回 南日本経済賞』

南日本新聞 2016年7月21日掲載

さかうえ／下堂園／マトヤ技研工業

南日本経済賞決まる

第11回南日本経済賞（南日本新聞社主催）の選考会が20日、鹿児島市の南日本新聞会館であり、さかうえ（志布志市、坂上隆社長、

下堂園（鹿児島市、下堂園豊社長）、マトヤ技研工業（曾於市、益留福一社長）の3社に決まった。

と評価された。下堂園は、欧州への茶葉輸出に1990年代からいち早く取り組むほか、新商品開発な

りを通し鹿児島茶の魅力を発信する。新分野に積極的な老舗の姿勢が評価対象となった。マトヤ技研は、食肉

処理機械メーカーとして処理施設の省力化につながる機械を次々に開発。近年は輸出にも力を入れる。鹿児島

畜産振興への貢献度が高いと認められた。同賞は鹿児島県の経済・産業に顕著な業績を挙げ、将来性のある企業などを評価する目的で、南日本新聞社が2006年に創設した。宮廻甫允氏（鹿児島大学名誉教授）を委員

と評価された。

をを通し鹿児島茶の魅力を発信する。新分野に積極的な老舗の姿勢が評価対象となった。

畜産振興への貢献度が高いと認められた。

長に、有山まり子氏（消費生活アドバイザー）、大野芳雄氏（鹿児島銀行相談役）、本田勝彦氏（日本たばこ産業顧問）、本坊修氏（鹿児島県経営者協会会長）が選考に当たった。贈賞式は8月10日、南日本新聞会館である。（小手川美子）

普天間訓練
移転で菅氏

馬毛島考えてない

菅義偉官房長官は20日の記者会見で、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の運用停止

実現に向け、米軍機の訓練を西之表市の馬毛島に移転する案について、「必要な土地を確保するに至っていない

い。現時点で馬毛島が有望な訓練移転先になるとは考えていない」と述べた。

馬毛島を巡っては、おおさか維新の会の下地幹郎衆院議員が沖縄県に活用を提案。翁長雄志知事が18日に視察

した。翁長知事は視察後、「私たちが（移転先は）どこが良いとは言えないが、全国的に基地のことを考えてほしい」と述べた。

日米両政府は2011年6月、硫黄島（東京都）で行っている米軍空母艦載機の陸上離着陸訓練（FCLP）の移転候補地として、馬毛島を検討することで合意している。ただ、地元西之表市は反対し、翁長知事の今回の視察についても遺憾とする文書を知事宛て

（情報技術）を生かし農産物の生産工程管理の独自システムを構築。耕作放棄地活用や人材育成にも力を入れ、農業活性化に貢献してい

「さかうえ」はIT（情報技術）を生かし農産物の生産工程管理の独自システムを構築。耕作放棄地活用や人材育成にも力を入れ、農業活性化に貢献してい

「さかうえ」はIT（情報技術）を生かし農産物の生産工程管理の独自システムを構築。耕作放棄地活用や人材育成にも力を入れ、農業活性化に貢献してい

「さかうえ」はIT（情報技術）を生かし農産物の生産工程管理の独自システムを構築。耕作放棄地活用や人材育成にも力を入れ、農業活性化に貢献してい

「さかうえ」はIT（情報技術）を生かし農産物の生産工程管理の独自システムを構築。耕作放棄地活用や人材育成にも力を入れ、農業活性化に貢献してい

「さかうえ」はIT（情報技術）を生かし農産物の生産工程管理の独自システムを構築。耕作放棄地活用や人材育成にも力を入れ、農業活性化に貢献してい

に送付している。

訂正

16、20日付

「沖繩知事馬毛島視察」の記事で、

馬毛島が米軍空母艦載機の陸上離着陸訓練の移転候補地として日米共同文書に明記されたのが「2007年」とあるのは「2011年」の誤りでした。おわびして訂正します。